

H27 チャバネアオカメムシ フェロモントラップ

チャバネカメムシの集合フェロモンを利用して発生量を調査しています。誘殺虫数が
 平年より増加した場合、果樹園への成虫飛来が多く、吸汁被害が発生することがあります。

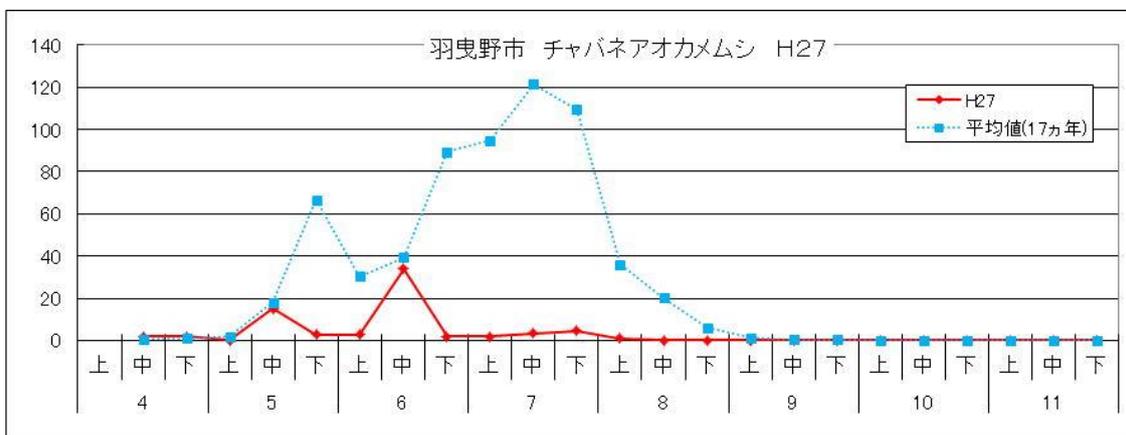
加害作物：もも、うめ、かき、発生量が多い場合にはぶどう、みかんなど

調査地点：羽曳野市、河内長野市、岸和田市

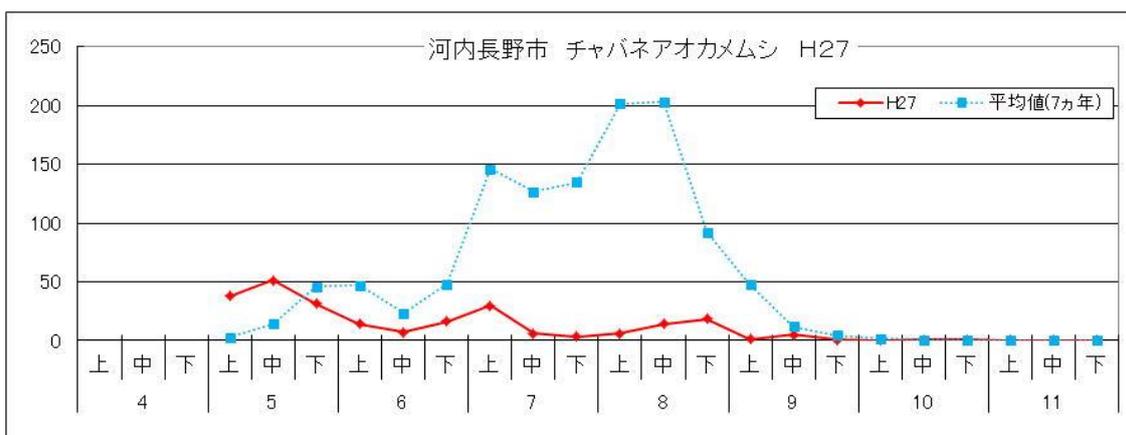
※平成27年度は羽曳野市以外は5月より計測

誘殺虫数(旬別)

羽曳野市 H27. 11. 26現在



河内長野市 H27. 11. 27現在



岸和田市 H27. 11. 27現在

